

原発

震災体験談



教育委員会生涯学習課スポーツ振興係
(震災当時)
佐藤 孝

私たちスポーツ振興係が担当していた白石市スポーツセンターに、原発事故の影響で平成23年3月15日から南相馬の方々が大量避難してきました。

体育館なのでとても寒いんです。体調を崩して風邪など引かないように、ストーブを集めてこよう、少しでも暖かいものを提供しようと、とにかく無我夢中でした。「お風呂に入りたい」という皆さんの声に、地元温泉旅館の協力、そしてバスでの送迎、本当にありがたかったですね。92歳というご高齢の方もいたので、寒さ対策には本当に苦心しました。

当初は、約100人の大人数でしたので、至らない点も多々あったかと思いますが、避難した方々自らが掃除や調理を分担し、支え合い、協力しながらの共同生活でした。

4月10日には、避難所を旧勤労青少年ホームに移し、9月30日の閉鎖までの約6カ月間、避難所運営にあたり、その中で、職員間のチームワークの大切さを痛感していました。

11月1日、放射能対策室が設置され、私は、当室に異動することになりました。12月には、食品などの放射能測定を開始し、市民の皆さんがどんどん野菜などを持ち込んで測定するようになりました。皆さんに放射能のことをお話すると、「根拠があるのか」とお叱りを受けることも多々あり、「国が説明していることを基に話をしています」と説明するしかない状況でした。

平成24年4月には、越河保育園の除染を開始し、現在では、子ども空間である保育園や幼稚園、小中学校と公園の除染は、すべて完了しました。

民家の除染や焼却灰の仮置き場設置など、課題は山積していますが、市民の皆さんのご協力をいただきながら、この局面を乗り越えなければならないと、強く思っています。



6 原子力災害への対応

1 放射能対策室の設置

本市は、福島第一原発事故に伴う放射能汚染対策を迅速に進めるため、平成23年11月1日に放射能対策室を設置しました。

■主な業務

- 市内各地の空間放射線量の測定と汚染状況の把握
- 農産物、食品などの放射能の検査測定
- 放射線量測定機器などの貸し出し
- 除染などの放射線量低減対策
- 市民の健康管理対策
- 放射能対策に係る情報収集と関係機関などとの連絡調整

■放射能対策室設置からの動き

平成23年

日付	動き
11月1日	放射能対策室を設置・放射線測定器の貸し出しを開始
11月8日	市民の安全・安心の確保に関する要望書を、東日本大震災復興対策本部宮城県現地対策本部長郡和子衆議院議員に提出
12月5日	食品等の放射能測定を開始
12月12日	福島第一原子力発電所事故に伴う賠償範囲拡大に関する要望書を2市4町で、東日本大震災復興対策本部宮城県現地対策本部長郡和子衆議院議員に提出
12月20日	第2回福島第一原発事故対策みやぎ県民会議 原木しいたけ（露地）から暫定規制値を超えたセシウムが検出されたため、宮城県より出荷自粛の要請
12月26日	除染対策連絡調整会議
12月27日	県と県内33市町が連携して東京電力に損害賠償請求書を提出
12月28日	国から汚染状況重点調査地域（※）に指定される

平成24年

日付	動き
1月10日	宮城県除染対策チームと第1回打ち合わせ
1月16日	原木しいたけ（露地）から暫定規制値を超えたセシウムが検出されたため、国より出荷停止の指示
1月20日	福島第一原発事故に伴う被害への早期対応を求める要望書を、宮城県知事と県内19市町の首長で、国に提出
1月31日	宮城労働局主催の除染処理業務講習会が開催される
2月1日	焼却灰の放射能測定を開始
2月7日	環境省福島再生事務所除染支援チームと打合せ
3月11日	白石市の除染方針について告知開始
3月15日	除染に関する住民説明会を各地区で開催
4月26日	越河保育園・越河公民館の除染開始

平成24年

日付	動き
5月1日	パンフレット「身のまわりの放射線量を減らす工夫」を作成 市内の放射線量分布マップを作成 たけのこから基準値を超えたセシウムが検出され、国より出荷停止の指示
5月24日	白石市除染実施計画を策定
5月29日	越河小学校の除染作業開始
6月1日	毎日の空間放射線量の測定をシンチレーション式サーベイメーターで実施
6月20日	越河保育園・越河公民館の除染作業が終了
7月1日	白石市焼却灰排出抑制事業補助金の受付を開始
7月13日	斎川小学校の除染作業開始
7月17日	除染実施計画対象外になる子ども空間の除染作業（独自除染）開始
7月20日	越河小学校の除染作業が終了
8月3日	南中学校の除染作業開始
8月28日	大鷹沢保育園の除染作業開始
8月30日	焼却灰保管袋を対象世帯に配布
9月5日	福島第一原発事故に対する商工業関係者向け「第1回原子力損害賠償個別相談会」を開催 斎川小学校の除染作業が終了
9月7日	白石市除染実施計画第2版を策定
9月11日	大平小学校の除染作業開始 大鷹沢小学校の除染作業開始
10月2日	福岡小学校の除染作業開始 白川小学校の除染作業開始
10月4日	白石第二小学校の除染作業開始
10月9日	福島第一原発事故に対する農林畜産業関係者向け「第2回原子力損害賠償個別相談会」を開催
10月15日	大鷹沢保育園の除染作業終了 東中学校の除染作業開始 白石中学校の除染作業開始

2 除染実施計画・実施状況

平成24年

日付	動き
10月25日	小原小中学校の除染作業終了
10月28日	平成24年産米について市内全地区の出荷自粛が解除される
10月31日	独自除染終了
11月7日	大平小学校の除染作業終了
11月20日	大鷹沢小学校の除染作業終了
12月10日	白石第二小学校の除染作業終了
12月20日	福岡小学校の除染作業終了
12月28日	東中学校の除染作業終了
	白石中学校の除染作業終了
	白川小学校の除染作業終了
	旭町第2公園の除染作業開始

平成25年

日付	動き
2月8日	城南第1・第2公園の除染作業開始
	越河平公園の除染作業開始
2月13日	城南幼児遊園の除染作業開始
	城南一丁目公園の除染作業開始
	権現公園の除染作業開始
2月21日	旭町第1公園の除染作業開始
3月5日	旭町第2公園の除染作業終了
3月8日	斎川公民館の除染作業開始
3月25日	城南第1・第2公園の除染作業終了
	城南幼児遊園の除染作業終了
	城南一丁目公園の除染作業終了
	越河平公園の除染作業終了
	権現公園の除染作業終了
旭町第1公園の除染作業終了	
3月28日	斎川公民館の除染作業終了
3月29日	白石市除染実施計画第2版改正

※汚染状況重点調査地域とは、放射性物質汚染対処特措法に基づき、その地域の平均的な空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルト以上の地域を含む市町村を、地域内の事故由来放射性物質による環境の汚染の状況について重点的に調査測定をすることが必要な地域として、市町村単位で指定するものです。指定を受けた市町村は、調査測定の結果に基づき、具体的に市町村内で除染実施計画を定める区域（毎時0.23マイクロシーベルト以上の区域が対象）を判断していくことになります。

(1) 除染等の措置等の実施に関する方針

「平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に基づいて除染に取り組み、長期的に追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト以下になることを目指し除染を開始しました。

(2) 除染の着手時期と完了予定時期

平成24年から着手し、平成26年3月までの完了を目指し実施しています。平均の空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルト以上の「子ども空間」を最優先に除染を開始しました。

除染対象	実施者
計画対象区域内のすべての幼稚園・保育園、小中学校	市
計画対象区域内のすべての公園、児童遊び場、スポーツ広場	市
公共施設	市・県・国
通学路（側溝を含む）	市・県・国・(自治会)
民有地（戸建て住宅）	市
商業施設、工場、集合住宅	市
農地	市
牧草地	市
生活圏隣接の森林	市

(3) 除染対象区域

ア. 除染実施計画の対象となる区域・施設

区域	空間線量の範囲(μSv/h)	平均空間線量(μSv/h)	
越河	越河	0.35~0.65	0.51
	越河五賀	0.26~0.56	0.40
	越河平	0.35~0.67	0.44
斎川	斎川	0.27~0.43	0.31
大鷹沢	大鷹沢大町	0.21~0.29	0.25
	大鷹沢三沢	0.25~0.35	0.30
大平	大平中目	0.26~0.28	0.27
小原	小原	0.18~0.40	0.26

※大鷹沢大町、大鷹沢三沢、大平中目と小原の各地区は、一部区域を対象とします。

施設名称	空間線量の範囲(μSv/h)	平均空間線量(μSv/h)
北保育園	0.22~0.27	0.24
東保育園	0.21~0.26	0.23 ※
第一幼稚園	0.20~0.28	0.23
第二幼稚園	0.22~0.31	0.27
第二児童館	0.23~0.30	0.27
大鷹沢小学校	0.31~0.35	0.32
大平小学校	0.27~0.35	0.32
白川小学校	0.21~0.27	0.25

施設名称	空間線量の範囲(μSv/h)	平均空間線量(μSv/h)
福岡小学校	0.24~0.28	0.26
第二小学校	0.16~0.28	0.23
白石中学校	0.27~0.30	0.28
東中学校	0.14~0.34	0.26
福岡中学校	0.21~0.28	0.24
中央公園	0.24~0.28	0.25
益岡公園	0.24~0.31	0.28
白石川緑地公園	0.23~0.36	0.32
陣場が丘第1公園	0.21~0.28	0.25 ※
陣場が丘第2公園	0.19~0.27	0.23 ※
幸公園	0.24~0.25	0.24 ※
観音崎公園	0.21~0.27	0.24 ※
松ヶ丘第2公園	0.21~0.27	0.25 ※
堂形公園	0.25~0.27	0.26
旭町第1公園	0.36~0.36	0.36
旭町第2公園	0.35~0.45	0.39
東町第2公園	0.26~0.32	0.30
白石沖公園	0.26~0.31	0.29
パルタウン公園	0.28~0.31	0.30
延命寺公園	0.21~0.25	0.24 ※
郡山幼児遊園	0.24~0.27	0.25 ※
城南幼児遊園	0.30~0.35	0.33
城南第1公園	0.27~0.32	0.29
城南第2公園	0.24~0.27	0.25
城南一丁目公園	0.23~0.26	0.25
永坂公園	0.23~0.26	0.24 ※
岩崎テニスコート	0.22~0.25	0.23 ※
岩崎公園	0.22~0.26	0.24 ※
岩崎第2公園	0.22~0.25	0.24 ※
鷹巣第3公園	0.30~0.36	0.34
鷹巣第4公園	0.25~0.27	0.26 ※
鷹巣第6公園	0.24~0.35	0.31
鷹巣第7公園	0.25~0.27	0.26 ※
つくし公園	0.10~0.31	0.25
材木岩公園	0.20~0.31	0.26
緑が丘第4公園	0.17~0.26	0.23 ※
緑が丘幼児遊園	0.22~0.28	0.25
寿山第3公園	0.24~0.25	0.24 ※
寿山公園	0.22~0.24	0.23
権現公園	0.25~0.30	0.28
萩ヶ丘公園	0.24~0.25	0.25

※その後の詳細測定で毎時0.23マイクロシーベルト未満のため除染作業は行っていません。

イ. 「白石市除染実施計画」に基づく除染の進捗状況(平成25年8月30日現在)

施設名称	作業開始日	作業終了日	平均空間放射線量の推移(μSv/h)	
保育園	越河保育園	平成24年4月24日	平成24年6月20日	0.47→0.19
	大鷹沢保育園	8月28日	10月9日	0.27→0.14
小学校	越河小学校	平成24年5月29日	平成24年7月20日	0.52→0.19
	斎川小学校	7月13日	9月5日	0.35→0.16
	小原小・中学校	8月14日	10月25日	0.34→0.16
	大鷹沢小学校	9月11日	11月20日	0.24→0.10
	大平小学校	9月11日	11月7日	0.27→0.13
	白石第二小学校	10月4日	12月10日	0.26→0.15
	福岡小学校	10月2日	12月20日	0.24→0.11
	白川小学校	10月2日	12月28日	0.24→0.10
	南中学校	平成24年8月3日	平成24年10月15日	0.27→0.13
中学校	白石中学校	10月15日	12月28日	0.27→0.11
	東中学校	10月15日	12月28日	0.24→0.13
	越河公民館	平成24年4月24日	平成24年6月20日	0.34→0.19
公民館	斎川公民館	平成25年3月8日	平成25年3月28日	0.20
	旭町第2公園	平成24年12月28日	平成25年3月5日	0.30→0.15
公園	城南第1公園	平成25年2月8日	平成25年3月25日	0.23→0.10
	城南第2公園	2月8日	3月25日	0.23→0.12
	越河平公園	2月8日	3月25日	0.57→0.17
	城南1丁目公園	2月13日	3月25日	0.28→0.10
	城南幼児遊園	2月13日	3月25日	0.26→0.10
	権現公園	2月13日	3月25日	0.27→0.10
	旭町第1公園	2月21日	3月25日	0.35→0.13
	緑が丘幼児遊園	5月10日	6月25日	0.26→0.11
	萩ヶ丘公園	5月10日	6月25日	0.28→0.09
	東町第2公園	5月10日	6月25日	0.23→0.10
	鷹巣第3公園	5月10日	6月25日	0.25→0.12
	材木岩公園	6月20日	7月16日	0.25→0.20
	鷹巣第6公園	6月20日	8月20日	0.25→0.09
	益岡公園(二の丸)	平成25年6月20日	平成25年8月22日	0.25→0.11

ウ. 白石市独自除染

本市では、「白石市除染実施計画」に基づく除染と合わせて、平均の空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルト未満であることを理由に実施計画の対象にならない保育園や幼稚園、小学校、中学校なども市独自で除染を実施しています。

また、「白石市除染実施計画」第2版に盛り込まれた保育園、幼稚園、児童館も、より早く空間放射線量を低減させるために市独自で除染を実施しています。

■市独自除染を実施した施設 (平成25年8月30日現在)

	施設名称	作業開始日	作業終了日	平均空間放射線量の推移(μSv/h)
保育園	南保育園	平成24年8月7日	平成24年8月9日	0.17
	北保育園	8月9日	8月10日	0.24→0.17
	白川保育園	8月10日	8月10日	0.18
	深谷保育園	8月10日	8月10日	0.13
	西保育園	8月16日	8月17日	0.18
幼稚園	第一幼稚園	7月25日	7月26日	0.23→0.20
	第二幼稚園	8月2日	8月7日	0.27→0.16
小学校	白石第一小学校	7月17日	8月2日	0.19
	深谷小学校	8月17日	8月17日	0.19
中学校	白川中学校	8月20日	8月20日	0.18
	福岡中学校	10月2日	10月31日	0.24→0.19
児童館	第二児童館	8月15日	8月16日	0.27→0.20
公園	益岡公園(白石高校向い側)	8月21日	8月31日	0.21→0.20
	益岡公園(野球場西側)	8月21日	8月31日	0.27→0.18
	つくし公園	8月22日	8月24日	0.25→0.18
	中央公園	8月30日	9月7日	0.25→0.18
	寿山公園	9月4日	9月7日	0.23→0.19
	堂形公園	9月7日	9月7日	0.26→0.21
	白石沖公園	9月10日	9月13日	0.29→0.16
パルタウン公園	9月13日	9月14日	0.30→0.21	

越河保育園除染状況

子どもたちの健康を最優先に考え、環境省に提出した「白石市除染実施計画」の承認を待たずに、平成24年4月26日から越河保育園の除染作業をスタートさせました。



●平成24年4月26日
保育園に隣接する山林の枝打ち、落ち葉の除去を行いました。



●平成24年5月11日
保育園建屋の屋根や壁などの洗浄を行いました。



●平成24年5月14日
砂場の砂を入れ替えました。



●平成24年5月17日
園庭の覆土作業を開始。厚さ5cmの覆土を行いました。使用した土は、蔵王町の黒土と川崎町の山砂を混ぜたものです。

●平成24年6月7日
越河保育園の除染作業を終了しました。

3 | さまざまな放射能対策

ア. 塩化カリウム肥料の水田散布

水田土壌に蓄積した放射性セシウムの吸収を抑制する効果があるとされる「塩化カリウム」を水稲作付け農家全戸に無償配布し、散布を実施しました。

平成24年度と平成25年度の散布状況

対象農地	水田：1,200ha
対象者	白石市内の水稲作付け農家全戸：2,165戸
散布量	10ha当たり約30kg

米の出荷自粛、解除状況

地域	調査点数	出荷自粛解除月日	
		平成24年	平成25年
白石	1	9月20日	9月19日
白川	2	9月19日	9月13日
福岡	4	9月19日	9月20日
大鷹沢	3	9月20日	9月19日
大平	2	9月21日	9月19日
小原	3	10月10日	9月26日
斎川	3	10月16日	9月19日
越河	122	10月27日	10月10日
合計 140地点の検査で安全性が確認できました。			

イ. 食品などの放射能測定

(1) 一般食品等の放射性物質測定

自家栽培した自家用野菜や自家水などの放射能の測定を行っています。平成25年12月31日までで、食品は1,791件測定しました。

受付開始日	平成23年12月5日
測定実績	1,791件(平成25年12月31日現在)
検体実績	白菜、じゃがいも、長ネギ、にんじんなど
測定機器	トリアスラーベクレルファインダー (HIDEX社) EMF211 (EMFジャパン社) CAN-OSP-NAI (日立アロカメディカル社)

(2) 保育園の給食材の放射能測定

給食食材の簡易測定を実施し、各保育園に掲示するとともに、市ホームページでも公表しています。

測定結果公表開始日	平成24年1月11日
測定園	8保育園
測定機器	CAN-OSP-NAI (日立アロカメディカル社)
測定結果	すべて不検出

(3) 小中学校の給食材の放射能測定

給食食材の簡易測定を実施し、白石市学校給食センターのホームページで公表しています。

測定結果公表開始日	平成24年1月6日
測定校	小学校10校、分校1校、中学校6校 宮城県立角田支援学校白石校小学部1校・ 中学部1校
測定機器	CAN-OSP-NAI (日立アロカメディカル社)
測定結果	すべて不検出

(4) 水道水・自己水源の放射能測定

毎月1回測定を実施し、市ホームページで公表しています。

調査開始日	平成23年5月9日
原水	二ツ森水源、三住簡易水道、湯元簡易水道 下戸沢簡易水道、上戸沢簡易水道
給水栓	二ツ森水源、三住簡易水道、湯元簡易水道 下戸沢簡易水道、上戸沢簡易水道
調査機関	東北大学及び東北緑化環境保全
測定結果	すべて不検出

(5) 空間放射線量測定器の貸出

生活空間の放射線量の測定を希望する市民の皆さんに測定器の貸出を実施しています。

貸出開始日	平成23年11月1日
対象者	白石市民と市内に立地する企業
費用	無料
測定機器	NaIシンチレーション簡易測定器 RadiPA-1000(ホリバ社)
貸出件数	559件(平成25年12月31日現在)

(6) 焼却灰の放射能測定

市内で風呂焚きや薪ストーブで使用した焼却灰の放射能測定を実施しています。

受付開始日	平成24年2月1日
測定実績	182件(平成25年12月31日現在)
測定機器	CAN-OSP-NAI (日立アロカメディカル社)

4 放射能理解への活動

(1) 教養活動

開催月日	講演内容
平成23年 4月28日	市民公開講座「放射線と私たちの健康」 講師 公立刈田総合病院健診センター長 洞口正之先生
5月12日	市民公開講座「放射線と私たちの健康」 講師 公立刈田総合病院健診センター長 洞口正之先生
10月19日	特別講演会 「福島原発事故による放射能汚染とどう付き合うべきか？」 講師 東北大学加齢医学研究所 教授 川島隆太教授
平成24年 3月30日	放射線・放射能に関するセミナー 「放射性物質が及ぼす影響とその対応」 講師 東北大学大学院工学研究科 教授 石井慶造教授

(2) 配布したチラシ・パンフレット

配布月	配布内容
平成24年5月	「身のまわりの放射線量を減らす工夫」 パンフレット
平成24年7月	「食品中の放射性物質についてきちんと 理解しましょう」パンフレット
平成25年12月	「焼却灰の取り扱いについて」チラシ

(3) 広報活動

実施日	広報活動内容
平成23年5月	モニタリング結果をホームページで公表、 市役所・各公民館に掲示を開始
平成23年6月	モニタリング結果チラシ回覧（月2回） を開始
平成24年1月23日	放射能対策室のホームページを開設し、 各種情報を掲載
平成24年3月	広報しろいし3月号に「放射能対策」の 特集6ページを掲載
平成24年8月	広報しろいし 放射能対策特集号発行

※平成23年12月以降、広報しろいしに放射能対策のページを毎月掲載。

(4) 公表している測定結果

担当部署	掲載内容
放射能対策室	空間放射線量の測定結果
上下水道事業所	水道水自己水源の放射能測定結果
子ども家庭課	白石市保育園給食の使用食材 放射能検査
学校給食センター	学校給食の使用食材放射能測定結果
農林課	白石産米出荷自粛解除 白石市農産物放射能測定結果
宮城県 農林水産部 農産園芸環境課	農地土壌などの放射性物質調査結果 牧草と稲わらの放射能測定結果
宮城県 企業局公営事業課 水道経営管理室	水道水および浄水発生土の放射能測 定結果



市民公開講座で講演を行う、公立刈田総合病院健診センター長の
洞口正之先生

5 国・東京電力への要望・損害賠償請求

福島第一原発事故は、農産物の出荷停止や検査費用の負担などの直接的な被害だけではなく、風評被害で農業や観光業における減収や放射線被ばくによる健康への不安、精神的苦痛などを招き、本市に深刻な影響を及ぼしました。本市はこれまでも国と東京電力に対し、被害への早期対応と適切な損害賠償を繰り返し要求してきました。今後も引き続き、本市の実情に促した対応と賠償を国と東京電力に強く訴えていきます。

主な要求項目

- 農産物の風評被害に関する損害の賠償
- 観光業などの風評被害に関する損害の賠償
- 健康調査を個人で受診した場合の費用の賠償
- 白石市が負担している費用の賠償

平成23年 12月12日	福島第一原発事故に伴う賠償範囲拡大に関する要望書を、県南2市4町（白石市・角田市・七ヶ宿町・大河原町・丸森町・山元町）の首長連名で、東日本大震災復興対策本部宮城県現地対策本部長 郡和子衆議院議員（当時）に提出。
12月27日	県と県内33市町が連携して、11月30日までに被害対策に要した経費の一部を東京電力に請求。当市の請求額は4,452,432円。
平成24年 1月20日	福島第一原発事故に伴う被害への早期対応を求める要望書を、内閣総理大臣などに宮城県知事や宮城県市長会長、宮城県町村会長連名で提出。
3月12日	本市単独で、福島第一原発事故に伴う被害への早期対応と被害対策に要した経費の賠償に関する要望書を東京電力へ提出。
3月21日	東京電力東北補償相談センター所長他2名が来庁し、回答書を持参。具体的な対応が明記されず。
4月25日	先に東京電力へ提出した要望事項に、除染に関する住民説明会において市民の皆さんからいただいた意見を追加し、要望書を東京電力に再度提出。
5月9日	東京電力東北補償相談センター所長他2名が来庁し、回答書を持参。前回の回答から進展のない内容のため、再検討と再回答を指示。
5月31日	東京電力東北補償相談センター所長他2名が来庁し、回答書を持参。納得できる内容が明記されず。
6月27日	市民に対する損害賠償と農産物や観光業における風評被害による減収分に対する損害賠償に関する要望書を市議会で東京電力へ提出。
8月2日	6月27日付けで市議会が提出している要望書の回答を東京電力東北補償相談センター所長などが持参し、市議会議員と意見交換。
8月20日	上下水道事業所、第1回賠償請求。
8月29日	市長が、東京電力へ白石の現状を訴え、既に損害賠償を受けている地域と同等の放射線量の地域に住する市民に対する損害賠償、農産物や観光業における風評被害・間接被害などに対する賠償、焼却灰排出抑制対策と焼却灰保管などについて、市だけではなく個人負担分の補償を、強く求める要望書を提出。
9月10日	8月2日に市議会との意見交換の中で出た質問などの回答が、東京電力から届く。納得できる内容が明記されず。
9月14日	内閣総理大臣と東京電力に、宮城県知事、岩手県知事、宮城県市長会長、宮城県町村会長、岩手県市長会長、岩手県町村会長連名で、福島第一原発事故に伴う風評被害への早期対応を求める要望書を提出。
9月28日	平成24年8月29日に提出した要望書の回答が東京電力から届く。原子力損害賠償紛争審査会における中間指針や審議の内容を踏まえるという回答に終始し、納得できる内容は回答されず。
10月24日	上下水道事業所第1回賠償請求分入金。
12月11日	東京電力と、市民に対する損害賠償や有害鳥獣対策などの個別事案の補償を協議。
12月17日	上下水道事業所、第2回賠償請求。
平成25年 1月28日	上下水道事業所第2回賠償請求分入金。

原子力損害賠償個別相談会

福島第一原発事故に伴う直接被害や風評被害などの賠償問題で、東京電力東北補償相談センター（仙台市）による「原子力損害賠償個別相談会」を2回開きました。



	第1回相談会	第2回相談会
日時	平成24年9月5日	平成24年10月4日
対象者	農林畜産業の事業者 （5事業者参加）	商工観光業関係者（スキー場、 温泉、白石城・スパッシュランドし ろいしを運営する市文化体育振興 財団など12業者参加）
内容	損害賠償の補償範囲・補償基準・損害賠償請求手続き、賠償スケジュールなど	

6 風評被害を乗り越えるための取り組み

震災での自粛ムードや福島第一原発事故の風評被害で、本市の観光業なども大きな打撃を受けました。本市では、観光客を呼び戻すためのイベントを開催。農産物の安心・安全のPRなど、風評の払拭に全力を挙げました。

(1) 観光客を呼び戻すために開催されたイベント

震災の影響で例年開催されている「全日本こけしコンクール」と「白石市春まつり」は中止となりましたが、「白石を、宮城を盛り上げたい」「笑顔を届けたい」との思いから、復興への願いを込めたイベントが開催されました。

ア. 震災直後に開催されたイベント

平成23年5月3日～4日
震災復興祈願「白石市こけしと地場産品市」
平成23年5月3日
震災復興チャリティーイベント 「がんばっぺ東北!!」「宮城武将隊サミットin白石」
平成23年5月3日
白石戦國武将隊「奥州片倉組」の白石観光大使 (すまいる大使)委嘱状交付式

イ. 温泉地での取組

小原温泉・鎌先温泉観光復興キャンペーン「湯めぐり手形」

小原温泉・鎌先温泉の各温泉施設では、3施設を選んで使える「小原温泉湯めぐり手形」「鎌先温泉湯めぐり手形」を各1,000円（通常1,500円）で販売しました。また、3施設利用後に手形を白石駅観光案内所に持参した方には白石温麺をプレゼントしました。

実施期間／平成23年7月1日～9月30日	
参加対象施設	
小原温泉	鎌先温泉
旅館しんゆ、旅館やくせん、ホテルいづみや、旅館かつらや、かつらの湯	最上屋旅館、すゞきや旅館、木村屋旅館



ウ. 飲食店での取組

まるごとうーめんまつり（平成23年8月7日～9月25日）

①うーめんたべあるきとスタンプラリー

市内飲食店（専用のぼり目印）で白石温麺を食べた方に、1店につき1つ参加スタンプを進呈。参加者にはもちろん市内温泉の「日帰り入浴半額券」がプレゼントされました。

②抽選会へ参加で豪華景品

スタンプ2個で、市内温泉宿泊招待券や白石市の特産品が当たる抽選会に参加することができました。



(2) 農産物の安全・安心PR

平成25年白石市産米 安全宣言

宮城県では、「平成25年産宮城県の米の放射性物質検査への取組方針」を定め、平成25年産米の検査結果がすべて判明するまで、宮城県知事が昭和25年当時の旧町村全域で米の出荷自粛を要請し放射性物質調査を行ってきました。本市では、旧町村単位で合計140地点で、玄米を採集し放射性物質を測定しました。10月10日付けですべての測定結果が公表され、140地点すべて「不検出」となり安全性が確認されました。

平成25年白石市産米 安全宣言

宮城県では、「平成25年産宮城県の米の放射性物質検査への取組方針」を定め、平成25年産米の検査結果がすべて判明するまで、宮城県知事が昭和25年当時の旧町村全域で米の出荷自粛を要請し放射性物質調査を行ってきました。

白石市では、旧町村単位で合計140地点において、玄米を採集し放射性物質を測定しました。10月10日付けですべての測定結果が公表され、140地点すべて「不検出」となり安全性が確認されました。

このことにより、白石市産米すべての出荷自粛が解除され、米の出荷、販売、譲渡及び贈答が可能となりました。

稲作農家の皆様には、カリ肥料の散布等栽培管理の徹底をはかっていただき、また検査や出荷自粛にご協力いただき深く感謝申し上げます。

消費者の皆様におかれましては、白石市産の新米が安全であることが確認されましたので、安心してご購入いただけます。

ここに、平成25年白石市産米の安全を宣言いたします。

平成25年10月10日
白石市長 風間 康静



イ. 農産物PRのために

白石の魅力と多様な農産物をPRするために農産物アイドルグループ「SSN48」（しろいし・しんせん・のうさんぶつ）の頭文字）が誕生しました。



ウ. 「白石市農業祭～がんばっぺ白石～」の開催

地元農産物が大集合した「白石市農業祭～がんばっぺ白石～」を開催。たくさんの活きのいい野菜や果物をそろえた大盛況のイベントで震災による農業への影響が心配される中、白石の農産物の底力を全国にPRしました。

